～日本遺産「絶景の宝庫　和歌の浦」～

「黒江の町～琴の浦温山荘園～長保寺を訪ねる」活動案内　（担当６班）

歴史ある和歌の浦とその近辺の有形無形の文化財群が、2017 年 4 月に日本遺産に認定されました。未だあまり知られていませんが、和歌山市と海南市に跨がっていて、今回は海南市内の文化財の３名所を訪ねます。　※黒江の町と温山荘園は、3 名の語り部が付いてくれます。

（黒江の町並み）

紀州漆器の里と言われ、室町～戦国時代に近江系木地師の集団が、豊富な紀州桧が採れるこの地に住み付き漆器を作り始め、紀州藩の支援を受けて栄える。景観として古い街並みが残っています。

（琴の浦温山荘園）

大正初期に**新田長次郎翁が作られた個人所有では日本最大の日本庭園（59. 400 ㎡）で、東郷平八郎元帥が、「温山」を雅号に持つ新田翁の求めに応じて、「温山荘」と命名しました。**

作庭は、武者小路千家の 3 代目家元名代の木津宗泉氏の指導の下で完成する。

平成 22 年に文化庁より庭園は国指定の名勝、建造物は重要文化財に指定され、平成 23 年には公益財団法人となる。又、在世中に庭園は一般公開されていましたが、3 年前から主屋（温山荘）等の建造物も公開されるようになり、主屋や茶室からは心安らぐ日本庭園の景観美が味わえます。

（長保寺）

長保 2 年（西暦 1.000 年）、一条天皇の勅願にて創建され、鎌倉時代に再建された、規模はそれ程大きくはないが、**大門や本堂や多宝塔は国宝で、**その他の建造物は重文です。

鎮守堂も重文で、紀州徳川家墓所は国指定史跡になっています。

実　施　日　：　平成 30 年 8 月 31 日（金）

集合場所・時間：　天王寺公園入口の南側に 9 時 00 分　　バス出発は 9 時 10 分

※　バスは岸和田観光バス（株）の大型バス 2 台です。

装　備・所持品：　昼食・飲み物・雨具・ラフなスタイル・暑さ対策・その他

（行程）

天王寺発 9 時 10 分～**黒江の町並み** 10 時半着～**温山荘園** 11 時 40 分着（隣接する公園で昼食・県立自然博物館自由見学後に温山荘園見学）2 時発～**長保寺** 2 時 20 分着～**天王寺着**（16 時 30 分頃）

その他：・トイレは各所に在ります。　・県立自然博物館（水族館）入館料は 65 才以上無料です。

・個人負担はそら組規定のバス料金（3,000 円）のみ。 入園料等はそら組で負担されます。

・温山荘園ではトンネルを抜けると黒江湾の風景が観られますが、落石が有った為に現在は通行止めですが、園長との話し合いで「見知らぬ振りをするから自由に」となっています。

黒江の町並み

温山荘園

長保寺の大門（国宝）